

「2009年の回顧と反省」

1. 回顧「重大ニュース」

右掲は、当社に関わる今年の重大ニュースを10件リストアップしたものです。何よりも重大な事は、2月にお客様が重大な病気で入院されてコンサル契約が解除になり、資金繰り上、大変なピンチになり、やもなく前澤さんに会社都合による退職をお願いし、契約社員として待遇を変更してもらった事があります。昨年秋以降のリーマン・ショックに対して、当社のお客様は、無事対応されていたのですが、お客様の入院という思いがけない事態でピンチになったのです。前澤さんには、本当にご苦労をかけている上に待遇面での大幅変更をしたのは非常に心苦しい限りであります。

同じような事では、3男の将男がリーマン・ショックの煽りを受け勤務先から一時帰休になり、4月から大阪に帰って来た事があります。半年くらいと思っていたが、長期化したので、10月よりアルバイトで手伝ってもらう事になったのです。3男は、勤務先から6割の給与をもらっているので失業という訳ではないが、会社から産業雇用安定センターに求人情報を登録して再就職の斡旋を受けています。このセンターも形式的な状況のようなので、アルバイトながら、イラストレーターやフォトショップ・ドリームウイバーなどのソフト技術の習得や労働協会の3次元CADの講習に行っており、スキルアップをして自分を磨く方向でやっています。

また、私自身では、7月に還暦を迎えました。10月から年金の比例報酬部分や年金基金の支給を受けるようになりました。ところが、10月末に「坐骨神経痛」になり動けなくなりました。不思議なものと思っています。年金の支給を受けるようになって、反対に、坐骨神経痛で動けなくなったのです。迷信と思っていたのですが、「厄年」という事も重なっているので少し気になりました。お陰様で「小難」で終わりそうで、坐骨神経痛の方は、お客様や社員のご理解を得て養生しながらの勤務で、お陰様で、随分、回復しています。

仕掛け的な事では、大阪商工会議所のザ・ビジネスモールに登録したことで、いろんなビジネスの話が飛び込んで来るようになりました。その他、人脈も広がって、交流の幅が広がって来ました。この「人脈」という問題は当方の最大ネックだったので、今後の広がり期待しています。また、セミナーや講演の機会もあって、その面では充実した一年であったと思っています。

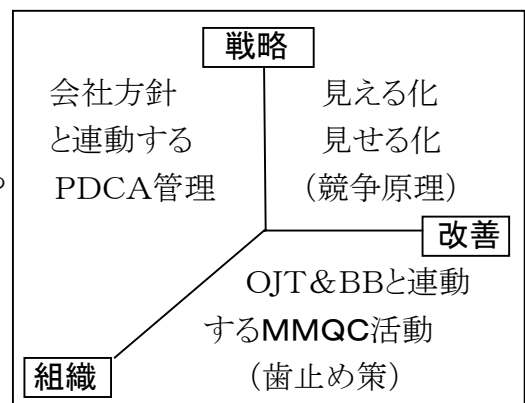
2009年重大ニュース

1. 前澤さんの雇用形態を変更
2. 大阪商工会議所でセミナー
3. 東京で講演
4. 講演の達人に登録
5. ザ・ビジネスモールに登録
6. 還暦
7. ペット博2009に参加
8. モバイルPC購入
9. 将男アルバイト
10. 坐骨神経痛になる

2. MMQC

MMQC(もっと儲かる小集団活動)を非製造部門のイノベーションの現場実践として本年から指導しているものです。私は、サラリーマン時代はトヨタ系販売店に勤務して、トヨタの推進するQC活動をMMQCとして自ら実践し、さらに現場指導していたものです。

右掲は、私が考える経営革新のスキーム図であります。戦略・組織・改善という3次元で出来る3つの領域で実践する管理項目を表しています。その中心は、現場で展開するMMQC活動なのです。どんなイノベーションも実践

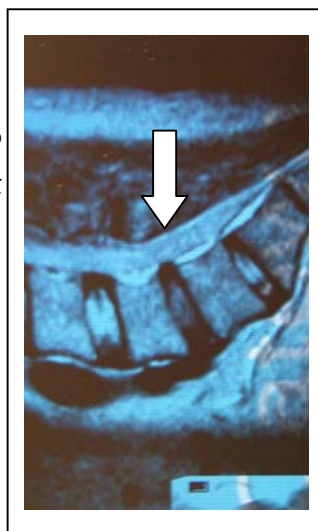


されるのは現場なのです。その現場活動が会社方針に向かって一体化する事によって「一番」を目指す競争原理と相乗して効果をあげるものであります。実際にMMQCで取り上げた戦略商品を短期間で3割アップした事例が現れています。

3. その他

「人脈」は企業戦略の重要要素であるが、2008年に大阪商工会議所の会員になった事が有効に機能し始めた事が本年の大きな事項であります。天王寺・阿倍野支部に属して月1回の経営サロンに参加して人脈の輪が広がったのです。また、2回のセミナーを実施できたのも大きい事であった。コンサルタントの営業方法は、出版するかセミナーを実施するの2つと言われているが、いずれも自力では難しい点が多いので、大阪商工会議所で2回開催できた事は非常に有難いものであります。お陰様で理論づけが大きく進みました。

そして、何よりも大きいのは10月末に「坐骨神経痛」になり、約1か月養生した事です。右掲は、腰あたりの背骨のMRIレントゲン写真です。矢印の先に黒い部分が凸になっている箇所があります。この凸で神経を圧迫しているのが原因とのことです。従来からこの部分が傷んでいたのですが、何かの炎症で発熱をして左足・腰に激痛を走らせたのです。治療法は、まず、炎症を下げるのに抗生物質を服用して、さらに、患部の血流をよくする為に温熱療法するという診断で温熱用のシップを頂きました。お陰様で約2週間で痛みが和らぎ、座って仕事を出来るようになりましたが、歩くと背筋や腹筋の緊張が高まり患部を圧迫して痛みを発するのです。これも徐々に回復して、すでに、500mほど歩いても大丈夫になって来ました。



このように、動きの自由を失っているので、移動にはクルマを使うことになり社員や息子に運転してもらった状況です、お蔭で仕事を出来ていますが、お客様、社員、家族の支えを実感しています。この支えがないと「不安」の前にくじけそうになる心の弱さに負けていたと思います。あるお客様は「先生、この病気で一層大きくなられたと思う」と嬉しいお声を頂いたのです。これは、何よりの宝物であります。この経験を活かした経営指導を行いたいと思っています。

ともかく、2009年はいろんな事がありましたが、時代に押し流されることなく自立して少し成長の機運を得て終わりそうです。私は、禅の教えが好きであります、「強く生きる」という点で今までと違って「人脈」という視点を持ち「求めない」境地を切り開くことができた1年であったと回顧します。今年、体験した事を大切にして、今後の柱として行きたいと思っています。

【まとめ】

1. 重大ニュース・・・厳しい中で新しい展開の基礎ができた
2. MMQC・・・トヨタ時代に学んだことを実際にお客様で実践し成果を出した
3. 「強く生きる」・・・新しい境地を切り開く

【AMIニュースのバックログは <http://www.web-ami.com/siryu.html> でご覧になれます！】